

自治体としての策定は 都内初!

令和7年11月20日 区長定例記者発表

事業名

真の国際人の育成を目指して 港区国際理解教育プログラムの策定

ここが ポイント

港区ならではの「幼児期から義務教育 修了までの国際理解教育」を体系化する ため、港区国際理解教育プログラムを策 定しました。自治体として都内初の取組 です。

事業費

1.158 千円

港区では、グローバル化の進展する国際社会において、子ども たちが将来、**真の国際人**として活躍できるよう、国際色豊かな地 域特性を活かし、様々な国際理解教育の取組を進めてきました。



★ 港区独自! / これまでの取組例

- ●中学校3年生の海外修学旅行
- ●小学校の「国際科」と中学校の「英語科国際」の授業●小中学生の夏休み中のオーストラリア派遣
- ●幼稚園へのネイティブティーチャーの派遣
 - ●区内の大使館と連携した学習活動

真の国際人 とは

自らの考えを積極的に発信するため、英語などの語学はもとより、表情や振る舞いも コミュニケーションの手段として活用しながら、自国や他国の伝統や文化を理解し、 国内においても国際的な視野を持ち、広く国際社会で活躍できる人材

概 要

港区ならではの「幼児期から義務教育修了までの国際理解教育」について、目指す べき方向性と取組を「言語」「伝統」「共生」の3つの領域で整理し、年代ごとの到達目標と 子どもの姿を明らかにして体系化するため、「国際理解教育プログラム」を策定しました。

港区国際理解教育プログラム

MINATO グローバルコンパス ~真の国際人育成に向けて~

ツールとして活用する「言語」を土台としながら、併せて「共生」と「伝統」 の学びが育まれるものと捉え、体系化した施策の推進を図ります。



単なるコミュニケーションの道具ではなく、論理的に考えたり、 言語 問題解決能力、円滑な人間関係や社会性を育む

互いに協力し、支え合い、国籍や障害の有無にかかわらず、 共生 インクルーシブな社会の一員として自立していく力を育む

地域や我が国の伝統を学習し、郷土愛や郷土の発展に貢献する 伝統 意欲を育む

3つの領域が、進むべき道を指し示すコンパス のイメージ

問合せ



課長 先端教育担当 溝口 03-3578-2703 (直通) **7**

教育人事企画課 先端教育担当 係長 羽田

7 03-3578-2787 (直通)